

令和8年6月26日(金)

委員 中田委員(元本校校長)、富士原委員(豊中第三中学校校長)、後藤委員(尚和会会長)、
伴野委員(地域関係者)、松本委員(PTA会長)、堀田委員(桜援会会長)

事務局 校長 教頭、事務長、首席(2名)、教務主任、教務副主任(情報)、生徒指導主任、
生徒指導副主任(自治会)、保健主任、進路指導主任、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任

1 校長 挨拶

教育改革が進む中、「社会を生き抜く力の育成」が求められている(知識を覚えるだけではない)
私学無償化の影響もあり公立高校は厳しい現状にある。

2 委員紹介及び事務局員紹介

3 会長・副会長の選出

会長: 中田委員 副会長: 富士原委員

4 会長 挨拶

色々なことに取り組んで実績を上げている。
生徒たちの自己実現をめざして支援していきたい。

5 実施要項について 教頭 高木

6 報告

(1) 令和8年度学校経営計画について 校長 田尻

「さくら協定」についての補足説明(大槌高校との共通性)

→両校にとって無理のない交流を続けていきたい。(9月に交流予定)

<以下要点>

今年のスローガンは「主体的対話的な教員集団による教育の推進」

→一人一人の教員が自分の意見をもって対話していく。

業務の平準化により超過勤務を削減し、働き方改革を推進していく。

→担任、分掌長の負担軽減(担任の負担軽減には生徒にとってもメリット)

一枚岩となった統一性のある、伴走型による生徒指導の実践。

→校則の見直し

今の時代に合致した広報による魅力の内外への発信。

→専門業者とも連携しながら動画作成にも取り組んでいる。

探究活動を通して興味を持つことに対するアプローチ

→探究する力の育成。

教員の前向きな取り組みにより授業アンケートの結果が向上、今年度も目標に

→課題の多い生徒、伸びている生徒、両方に対して適切に指導できている。

(2) 令和9年度教科用図書選定について 教務 眞島

教科書採択の手順について資料を用いて説明。

→教科書採択における本年度独自の注意点について補足説明。

中田会長より:新しい版になり大きな変更はあったのか

→教科によって様々ある。

(3) その他

・ SAKULABO 2年目（令和8年度 学校経営推進費） 教頭 高木

学校経営推進費のために前年度使用したプレゼン資料を用いて説明。

→ピンチをチャンスに変え、広報戦略旗艦校として取り組んでいる。

SAKULABO の機材を使用した成果物(動画)の紹介。

地域との交流も今後の展望としている。

後藤委員より：映像の力、映像を作成できる教員がいる強み

伴野委員より：時代の変化に伴って今の桜塚を実感できた

堀田委員より：広報が活発だと生徒にとっても誇らしい、母校愛

富士原委員より：中学生にとっても良いインパクトがある

中田会長より：学校経営推進費、PTAや尚和会からの提供などをうまく活用している

・ 授業力向上の取り組みについて（R8年度計画） 首席 神崎

コロナをきっかけとしてICTの活用が進んだ。

→端末を文房具代わりに、ロイロノートの活用、AIの活用。

保護者に対する授業公開や教員間の相互授業見学。

ベネッセのスタディサポートの分析を実施。

・ R8 国際交流の取り組みについて 首席 神崎

海外語学研修は3年目になり、今年度も計画中。

→ニュージーランド・テアロハとの姉妹校提携。

新たにモンゴル・日馬富士学園との交流を行う。

インドネシア、中国、アメリカの高校生徒の交流も予定。

・ 学校広報（魅力発信）の取り組みについて 首席 池田

<学校説明会の実施方針>

従来、8月に学校で実施していた説明会を動画開催。

→人数制限や地理的な制限をクリアできる利点。

秋以降の2~4回目(10, 12, 2月)は校内で実施。

・ 探究活動「桜学～桜塚みらい探究～」について 首席 池田

探究PTを立ち上げ、81期生以降の学年に対して組織的に実施。

→個々の生徒が自ら課題を見つけ、探究し、最終的に論文を作成する。

中田会長より：時間をかけて準備されたのでは？

→全く新しいものを作り上げたわけではなく、過去のを繋いでいる。

・ R7 地域連携の取り組みについて 首席 神崎

さくら協定の一環で大槌町との交流。

地域とのつながりを外部に広報できるように準備中。

中田会長より大槌高校との交流の経緯について補足

・ R8 行事予定表について 教務 眞島

今年度は、祝日の関係で授業日の確保が難しい暦である。

文化祭は今年度より1日開催、修学旅行は9月末から実施する。

卒業式は3月1日(月)。

令和9年度の行事予定は、入試の関係で3学期を中心に大幅変更が必要になる。

- ・ R 7 進路実績について 進路 吉村
78 期生の進路状況についての説明。
共通テストを受ける割合は増加傾向、国公立大学合格者数も増加傾向。
関西有名私立大学は増加傾向、指定校推薦は例年通り。
- ・ 生徒指導について（昨年度総括と本年度取り組み） 生徒指導 川崎
遅刻が増加傾向、風紀厚生委員、自治会の生徒とともに改善に取り組む。
スカートの丈が短い生徒は減少傾向、シャツの着用の仕方が崩れている。
生徒はよく挨拶をしている、教員からも挨拶をしていく取り組みを実施していく。
- ・ 部活動について（昨年度主な活動実績及び本年度入部状況） 自治会 寺河
部活動の実績を報告、加入率についての報告。
書道部と剣道部の部員が復活した。
- ・ 各学年より報告（学年および生徒状況について） 橋本（1年）佐下谷（2年）・本多（3年）
 - <第1学年>
入学したてのワクワク感から落ち着きを取り戻し、テストに向かっている。
さまざまな課題を抱えている生徒がいるが、概ね学校に向いている。
 - <第2学年>
当初 360 名であったのが、現在は 354 名。
自分自身の理想とは異なるため進路変更（転学）をする生徒が数名いた。
中だるみの時期なので進路指導などを通して気を引き締めていきたい。
 - <第3学年>
人懐こく、素直であるが幼い一面もある。
団長を中心に体育祭を盛り上げてくれた。
現段階で 68 名が国公立大学受験を考えている。最後まで指導していきたい。
選択肢を増やせる等メリットを伝えながら、共通テストの受験を推奨していく。

<委員よりの意見>

中田会長：生徒の PC を使うスキルはどうか

→眞島主任より：スキルは高いが、リテラシーを身に付けさせることが重要である。

→井上副主任より：授業内でも AI の活用を行っている。

堀田委員：探究で実施している内容なども発信してほしい。

中身の面でも桜塚をアピールできるのでは？

松本委員：学校の運営について知る機会になった。

伴野委員：親学習でしばらくお世話になっている。以前よりもいろいろな情報を身に付けている生徒が多い。生徒には長文を書けるようになってほしい。地域として応援しているので、これからもよろしくをお願いします。

後藤委員：教員の仕事量は膨大になっているように見える。だからこそ、チームで頑張ってもらいたい。

富士原委員：第 3 中学校でも探究の取り組みを行っている。教育産業と連携することになっているが、桜塚の取り組みを見て、職員の想いが取り入れられるようにしていきたいと思う。

授業アンケートの結果に驚いた。近くの学校なのでこれからも深く関わっていきたい

中田会長：前向きな取り組みに驚いた。生徒に背中を見せて成長させていく教育ができています。

生徒の自己実現のために委員の意見も取り入れながら計画を進めていってほしい。

第 2 回学校運営協議会（予定）

日時：10月22日（木） 15:00 ～ 17:00 図書室にて実施